



新陽通信



2025
11

CLASS OF SPORTS 真駒内養護学校とスポーツで交流

11月5日(水)、3年次の体育で「レクリエーションスポーツ」を選択した生徒25名が真駒内養護学校を訪問し、生徒の皆さんとパラスポーツを通じた交流を行いました。

北海道真駒内養護学校と札幌新陽高校は5年前から交流を続け、主に体育の授業を通して「多種多様なスポーツのあり方」を一緒に学んでいます。今回体験したボッチャは、体格や性別、障害の有無に関係なく楽しめるスポーツです。お互いに自己紹介をした後、ボッチャの競技ルールを確認し、真駒内養護学校と新陽高校の生徒が4チームに分かれてさっそく競技を開始。両校の生徒たちは一投ごとに歓喜したり悔しがったりしながら盛り上がり、楽しく交流することができました。

新陽高校には、このほかにも独自の学校設定科目を設けています。単位制の新陽高校だからできる、学べる授業があります！



CLASS OF FOOD 学校設定科目「食育学」 外部講師を招いて特別授業開講



11月4日(火)の食育学の授業では、札幌市南区食生活改善推進員協議会より4名の講師の方々をお招きし、特別授業を行いました。

食育学は新陽高校が独自に開設している「学校設定科目」のうちの一つです。

厚生労働省国庫補助事業「食生活改善推進員が牽引するヘルスサポーター養成事業」の一環として、朝食の大切さや野菜・塩分摂取について学び、自らの食生活を見直す貴重な時間となりました。

調理実習では「副菜」をテーマに、野菜中心のメニュー「ピーマンの肉詰め和風あんかけ」と「ニラともやしのごまみそ汁」を作りました。包丁の使い方や焼き加減に苦戦しながらも、協力し合いながらおいしく出来上がり！出来上がった料理は、みんなで楽しくいただきました。

今回学んだ朝食の大切さや塩分摂取を抑えるの工夫を、今後の食生活にも活かしていきたいと思います。



CLASS OF LIFE 命の大切さを学ぶ授業 新生児・妊婦体験・心肺蘇生法 講座をひらく

保健体育科では、「生涯を通じた健康」をテーマに、思春期の心身の発達や命の大切さについて学ぶ授業を行いました。

11月12日(水)と19日(水)の2回にわたり、保育士の先生にお越しいただき、「新生児人形を使った抱っこ体験」「マタニティーエプロンによる妊婦体験」そして、「心肺蘇生法(CPR)の講習」を実施しました。

新生児の重さを体感し、抱き方のコツを学んだり、妊婦体験では想像以上の身体への負担に驚きながら、普段の生活では触れることのない“命に近い学び”に、

生徒たちは真剣に取り組んでいました。また、心肺蘇生法講習では、いざという時にどう命を守るか、命を救う方法を学びました。

自分たちの命が多くの人に支えられて生まれてきたこと、そして誰かの命を守る存在になれること。今回の学びが、生徒たちの優しさと責任感を育む時間になっていれば嬉しく思います。

ご協力いただきました南区の保育士の先生方に心より感謝申し上げます。



FORUM

近未来の学校って？

高校リーダー研修2025開催

11月8日(土)に札幌大学SUcoleにて高校生リーダー研修が開催されました。この研修は、新陽高校の生徒だけでなく、市内複数の高校の生徒リーダーと教師が集まり、教育界でよく耳にする「協働」「対話」「多様性」について対話のを通して理解を深めるものです。

前半は、「生徒にとって理想の学校を考える」をテーマに、チームに分かれて独自の校歌や理念を作成しました。後半では、その理想を実現させるにはどのような教師が必要かを考えるため、生徒側が面接官、そして教師側が求職者となり、集団面接形式でのワークを行いました。

生徒や教師双方にとって学校に対する価値観を再考する中で繋がりをつくることのできる良い学びの場となりました。



PROJECT

ウアイヌコロ会議
に参加しています！

現在、本校の生徒3名が探究学習プログラム「ウアイヌコロ会議」に参加しています。その現地学習として、11月8日(土)に民族共生象徴空間「ウポポイ」へ、翌日の11月9日(日)には「サステナブル・ブランド国際会議学生招待プログラム第6回SB Student Ambassador北海道大会」にそれぞれ参加してきました。「ウアイヌコロ会議」の本会議が行われる来年1月8日(木)～10日(土)に向けて、「アイヌ」「共生社会」「持続可能な社会」について学んでいます。

新陽高校以外の生徒と共に探究学習するという貴重な機会に参加し、時にはグループワークをリードしたりと主体的に学んでいる様子が見られました。課外活動を通じて成長していく生徒たちをどうぞ、見守っていただけますと幸いです。



PROJECT

チャイナエアライン共同プロジェクト「台湾アンバサダー」最終章

校内外で活動報告会を実施しプロジェクト完結

台湾アンバサダーの生徒4名が10月28日(火)に校内で、11月8日(土)には株式会社すみか様のオフィスにて活動報告会を実施しました。台湾アンバサダーは、台湾の航空会社チャイナエアラインの広報活動を担う生徒で、札幌市内でのイベント運営やSNS発信を経て、9月には実際に台湾へ渡航してきました。

10月の校内報告会には40名を超える生徒と教員が集まりました。報告を聞いていた生徒の中には、来年3月に実施する修学旅行で台湾コースに参加予定の生徒もあり、修学旅行が楽しみになった！という感想がありました。



校外報告会には一般の社会人の方々にもご参加いただき、「台湾の原住民の刀剣文化」を探究テーマにした理由は？」「実際に見てどう感じた？」など、たくさんの質問をしてくれました。

アンバサダー生徒たちは、初めての海外でとても緊張していたけど、自分の英語が台湾の方に伝わったときに嬉しかった！という感想や、この経験を活かして今度は一人旅をしたい！など、早くも次の挑戦に目を向けているようです。

～皆さまに支えられて70年～

学校法人 札幌慈恵学園

認定こども園
札幌だいいち幼稚園
(豊平区旭町7丁目3-7)

sapporoshinyo
high school since 1958
全日制・単位制・普通科
札幌新陽高等学校
(南区澄川5条7丁目1-1)

めぐみ
フーサリースクール
企業主導型保育園
めぐみナーサリースクール
(中央区大通西18丁目1-1)